

Technical Passport 取扱説明

本年度より車検方式をパスポート方式へ変更いたしました。パスポートは表紙（改善箇所・指摘項目）車両スペックシート 詳細項目のチェックシートの22ページから成るチェックシートになります。詳細なチェック項目がありますが、テクニカルレギュレーションと照らし合わせながら車両製作して下さい。完成した車両がテクニカルレギュレーションに沿って完成しているか？チェックシートにご自身でチェックをしてご確認ください。

車両が完成した後 表紙・車両スペックに必要な事項を（チーム名・ゼッケン・ドライバー・代表者など）記入していただき チェックをしたチェックシートは、表紙を表にホチキスなどで綴じて車検時に車検員に提出して下さい。

パスポートは毎回車検時に車検員に提示ください。忘れた場合参加できないこともございます。

パスポートは車検時に車検員が許可の可否を記してチームに返却しますので、

1年間チームは大切に保管してください。最終ラウンドで全チーム提出してもらいます。

FDJ/FDJ2共に同じパスポートを使用します。チェック項目はありますが、それぞれの大会で緩和項目などがある場合、該当しない項目ではチェックボックスにチェックせずそのまま記入しないでください。該当する場合のみチェックを入れて下さい。

FDJの車両も、ロールケージなど2023年施行になる項目も記載しております。該当しないものは、チェックボックスはチェックせずそのまま構いません。

FDJ/FDJ2 Technical Passport 2022

パスポートとルールブックは文章での説明になりますので、各々の解釈があるとは思いますが、不明な点は、そのつど写真など画像を添付してFDJ事務局へ問い合わせして下さい。

注意事項

参加される皆さんへ

テクニカルパスポートは、22ページとかなり詳細な項目を設けておりますが、必ず車両を見ながらテクニカルレギュレーションと照らし合わせながら 1ずつチェックして下さい。

当日プリントしたパスポートに慌てて記入したり チェックシートにチェックを入れる

ような行為は、テクニカルレギュレーションに対する冒涇です。ルールは、皆様の大切なお身体を守るための安全対策など命に係わる大切な約束です。安全安心に大会を運営したいとオフィシャル一同日々努力しております。ご面倒だとは思いますが、皆様もスポーツマンとしてアスリートとしてドリフトを本当の意味でのMOTOR SPORTSに地位づける為、ご理解とご協力お願い申し上げます。

パスポート方式は、車両が規格に合っていると各々がチェックを行うという性質上 各々の文章への解釈があると思いますが、不明な点があれば自信での解釈を優先せず、確認もなしに施工して自分が正しいという主張は、一切認められません、トラブルを避けるため必ず不明点は事前にFDJ事務局まで写真を貼付してメールで文章にてお問合せください。テクニカルレギュレーション上の文章解釈はオフィシャルの解釈が優先されます。持論は一切受け付けません。

以上の理由で、初戦車検時に車検の規格に合わない車両の走行は一切できません。それと、シーズン途中で車検の規格合わない部分が発覚した場合も同様で、その競技で走行できない場合とポイントを獲得した後の発覚である場合は、ポイントはく奪等のペナルティーが発生します。

以上の事は、我々オフィシャルが見落としていたではないかと言う類の主張も一切受付いたしませんのでご留意ください。